

宮崎公立大学の今を伝える MMU SHiP

エムエムユー
シップ



巻頭
特集 **学長タイムリミットは20秒です。**



What is ソツロン?



MMU生のガクチカ大調査



Seasonal Coffee Journey
in Miyazaki

@MIYAZAKI
広告コミュニケーションゼミ Presents

宮崎を食べつくせ!

選手の推しメシMAP!

ちょっとリッチに お家でカフェ気分

CIRCLE de GOSHIP

KYO SHiP ~ MMU教員の頭の中 ~

未来のCompass

学長 タイムリミットは 20秒です。

MMU SHiP 20th
記念企画

MMU SHiP 20号の節目ということで、学長に無理を言って、20秒でインタビューに答えてもらいました。短時間だからこそ、伝わる、学長の本音に注目してみてください!!

今、旅に出るなら、どこに行きたいですか。



石垣島とかで、ゆっくりしたいですね。できればインターネットが繋がらないところが良いかな。

\safe!!/
00:05.10

好きな宮崎弁を教えてください。



私は、宮崎出身なので、日頃から宮崎弁を話しますが『大丈夫』を意味する『よかよか』が、どこか安心できて好きです。

\safe!!/
00:10.39

学長が工学を志されたきっかけを教えてください。



学生の頃に、インベーダーゲームなどの電子ゲームが流行し始めたのがきっかけで電子工学に憧れや興味をもちました。

\safe!!/
00:09.16

学食のおススメメニューを教えてください。



私は、いつもお弁当を持参しているのですが学生や職員の皆さんからは『グリーンカレー』が美味しいと聞きます。

\safe!!/
00:07.72

学生の頃、スポーツはされていましたか。



野球とサッカーをしていました。特に、野球は大学生まで選手として活動しMMUでは監督を務めていました。

\safe!!/
00:10.66

順調ですね! つぎからは、少し難易度が高い質問をさせていただきます!



座右の銘 『万象我師』※あらゆる事が自分を導く師となる

おススメの本 『大河の一滴』 子どもの頃の夢 バスの運転手、刑事

MMU で学び直しをしたら、どのような内容を学びたいですか。



MMU の学びの特色は、人文・社会・自然科学などの幅広い教養を学ぶリベラル・アーツ教育です。どれも人に話したくなるような内容で、学びの度に、新たな発見があるので、どの内容も捨てがたいですね。私も、本学が毎年開講している公開講座を、時間が許す限り受講するようにしていますが、受講を通して、新たな情報システムのアイデアが湧くことがあります。

⇒ 幅広い教養 × 深い専門性
= 無限の可能性

\safe!!/
00:22.59

新学科『国際情報学科』と『国際文化学科』について教えてください。



両学科とも、リベラル・アーツ教育を通して現代社会で必要とされ続けている、国際的な視野や柔軟な思考、主体的に学び続ける姿勢を身に付けることができます。そのうえで、国際情報学科では情報技術に関する確かな知識と技能を、国際文化学科は高い語学力と異文化理解力を修得していきます。



Time up!!

\safe!!/
00:24.17

学生に向けてメッセージをお願いします。



文理を超えた学びや偶然の体験を通して大きく成長してほしいです。MMUでは、様々な学びのイベントを定期的開催しています。ぜひ、積極的に利用して、新たな発見をしてください。

\safe!!/
00:11.06

新学科に関する最新情報はコチラ!

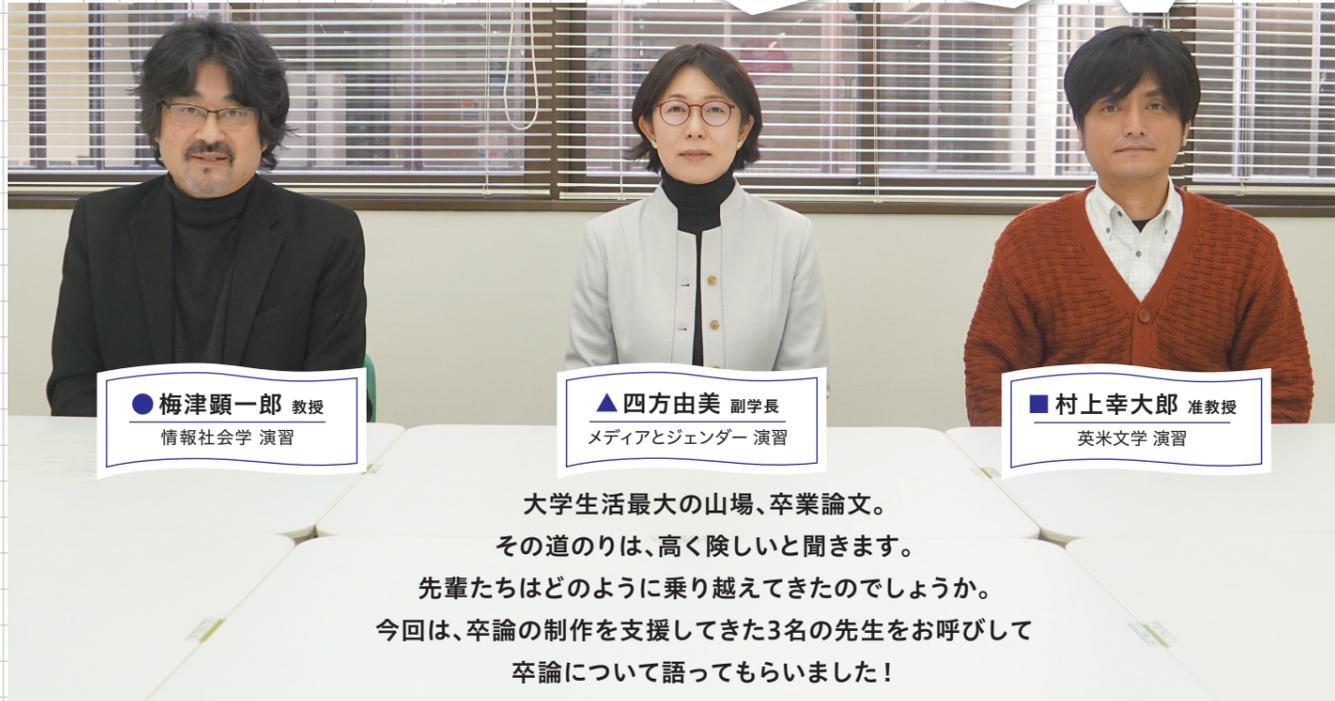


⇒ MMU生 = 『学び続けることができる人』



辻 利則 学長
専門分野: システム工学 災害情報 地域政策

What is ソツロン?



● 梅津 顕一郎 教授
情報社会学 演習

▲ 四方 由美 副学長
メディアとジェンダー 演習

■ 村上 幸太郎 准教授
英米文学 演習

大学生活最大の山場、卒業論文。
その道のりは、高く険しいと聞きます。
先輩たちはどのように乗り越えてきたのでしょうか。
今回は、卒論の制作を支援してきた3名の先生をお呼びして
卒論について語ってもらいました!

MMUの 卒論ってなに?

リベラル・アーツでの学び

▲— 卒業論文は、大学4年間で学んだことの集大成です。リベラル・アーツ教育が特色の本学では、様々な分野を幅広く学びます。最終的にゼミで専門を学び、一人一人がテーマを追求します。

■— 私の専門は英米文学ですが、ジェンダーや心理学など、他の分野の知識も応用しつつ卒論を制作します。論理を使っていかに説得力のあるものにするかが大事ですね。

●— 高校までの答えの決まった学びとは違うという点も大きいですね。自分で立てた問いに対し、納得する答えを作らなきゃいけない。自分の専門分野を中心としつつ、それ以外の学び1つ1つが、自分の問いを作る材料になっていくんですね。社会に出る前に、自分なりの問いや答えを探すという経験は、とても大切な学びだと思います。

1つのテーマと向き合うこと

▲— 卒業論文は、自分と向き合う時間でもあります。自分の興味のあるテーマを選ぶほど、つらくなる時もありますし、孤独な作業でもあります。難しい作業に向き合うことも、卒業論文の醍醐味といえるかもしれません。

どんなテーマがあるの?

▲— 私のゼミではメディアとジェンダーの領域を扱います。女性の貧困やDV、ファッションやアニメなどをテーマとする卒論が多いです。

●— 私のゼミでは、現代社会と情報化に関する内容を扱っています。本当に幅広いのですが、特に、消費行動を通じたアイデンティティ形成のテーマが多いですね。

■— 私の英米文学ゼミでは、作品を選んで考察します。18世紀から21世紀の、幅広い作品を扱っています。

印象的なテーマ

▲— どれも面白いのですが、恋愛リアリティーショーについて「放送倫理」「ジェンダー規範」「利用と満足研究」の3つの観点から分析した研究は印象的でしたね。

■— 作品に関する愛を感じる卒論は印象深いです。例えば、「赤毛のアン」で論文を書くのが夢だった学生が書いた卒論を思い出します。

●— おじさん風なファッションスタイルを好む女性が、どのような動機付けでそのスタイルに傾倒していったかという研究がありました。学生が自分なりの答えを導き出していて、印象に残っています。

テーマ選びのコツは?

▲— 卒論のテーマには、大学での学びを踏まえ、最も関心のあることを勧めています。ただ先行研究の調査を経てテーマを改めることもあり、実際多くの学生がテーマ決めにかかなりの時間を要します。

●— 興味関心に沿った先行研究が見つからないこともありますよね。その場合はテーマ探しに併せて、テーマを支える先行研究を近い分野から探すよう指導しています。

■— テーマ選びは難しいですが、卒業論文を執筆する上で最も大切なことは、テキストをしっかりと読むことだと、私は考えています。



アンテナを立てる

●— 色々な人と議論することは、思考を深めるうえで大切ですね。自分でも繋がってなかったことが繋がったり、新たな気づきを得られますし、興味の幅も広がるかもしれません。

■— ありきたりですが、興味を持ったことは調べる。実際に行動に移すといったことです。

▲— 社会学者の上野千鶴子さんが「エイリアンの領域」と述べておられますが、自分の知っていることや興味を持っていることの範囲にとどまらず、もう一歩先にアンテナを張ることもおすすめです。面白いテーマに出会える気がします。人間の営みは、すべて研究の対象になります。

ただのラブレターになってはいけない

■— ただ、好きなことや興味のあるテーマにすれば必ずしも上手くいくとは限りません。研究を続けるために情熱は必要ですが、私の専門の文学でいえば、ただのラブレターになってしまいがちです。

●— 好きなものに対し、ある程度距離を取りながら客観性を保つというのが、大切であり、難しいところですね。

行き詰ったときは……

▲— 私が尊敬する先生の「行き詰ったときは、文学や別の分野の本を読むといいよ」という言葉を思い出します。

■— 私は、先ほども述べたように、やはりテキストに戻り「読み込む」ことをおすすめします。

▲— 「行間から浮き出てくるまで読め」という教えがありますね。

■— 研究にはどの分野にも、一次資料と二次資料がありますが、困ったときはど一次資料を読むこと!ですかね。

全員— (頷く)



もしも高校生に戻れるなら?

— 高校生へメッセージ

▲— 私が高校生に戻れるなら、本をもっと読んでおきたいなと思います。特に文学。人間の本質みたいなものを若いうちから見て・聞いて・考えておくことが大切なと思うんです。

■— 同じ本を読んでも、高校生の時に感じることと大人になってから感じることは違いますよね。本を読んだり、イベントに参加したり、色々な体験をしてほしいなと思います。



文学に触れる

●— 大学での学びは、高校までと違い、自分で問いを立て自分なりの答えを導き出す学びです。本を読んだりネットで調べ続けたり、学問とは少し離れた活動も価値があると思います。

▲— MMUは、本当に幅広い領域の先生方が集まっています。ぜひ、先生方の研究にも注目してみてください!

最後に一言!

●— 目先の目的にとらわれず生きてください。

▲— 研究の面白さと楽しさを知ってもらいたいです!

■— 好きなことや好きな作品について深く考えることができるのはとても贅沢なことです。ぜひそんな時間を楽しんでください。

先生方、ありがとうございました!

MMU生の ガクチカ大調査

MMU Student Interview



MMU生にガクチカ(学生時代に力を入れたこと)について
インタビューをしてみました!



ワーホリ カナダで

File:2

清水 康太郎(4年)

Q. どんな生活だった?

留学中は、とにかく英語を聞いて、覚えて、使うことを意識して現地で生活していました!

海外にいるとはいえ、実際に生活の中で英語を使う機会は意外と少なかったりするので、英語のアニメなどを視聴して、新しい表現はアプリに登録して覚えるなど個人学習も欠かさずしていました。

知らない土地でコネクションもない状態でのスタートでしたが、語学学校などで同じワーキングホリデー仲間と出会い、情報を共有しながら行動することで乗り越える事ができました。

サークルで子供たちを支援

File:3

大谷 陽(2年)

Q. きっかけを教えてください?

高校時代のボランティア体験がきっかけで、子供たちの学習支援などを行っている大学公認のサークル「リトルティチャーズ」に参加しました。

Q. 大変だったことは?

現在サークルの代表として活動していますが、新入生に活動の仕組みを教えることやどのように部員を獲得するかなど、子供たちの学習支援以外にも検討の必要がありました。

また、自分が忘れてしまっている知識を確認するといった学習支援に向けた準備も大変でした。

Q. 得られたことは?

リーダーとして主体性を持つことができ、全体を見て、物事を冷静に捉え、対処できる力が身に付きました。

また、学習面だけではなく、子供たちのメンタル面をサポートする力も身に付きました。



ハワイへの 公費派遣留学

File:1 西村 颯斗(4年)

Q. きっかけを教えてください?

ただ英語を学ぶだけでなく、英語で違う教科を学ぶことができることに魅力を感じて、宮崎公立大学の交換留学生として留学できる制度があるハワイのKapiolani Community Collegeに留学しました。

Q. 大変だったことは?

もっとも大変だったことは、ビザの取得です。1ヶ月以上現地に滞在する場合には、ビザの申請が必要で、取得に向けた面接のために、大阪または東京のアメリカ領事館へ行かなければなりません。

私がビザを取得するタイミングに、トランプ大統領の政策によって一定期間ビザの取得が不可能になり、面接を行える時間が限られてしまったりと、面接の予約が難航したりと、精神的にも、体力的にも大変でした。

Q. 得られたことは?

他人の目を気にせず、自分が本当にしたいことをするべきという考えを得れたことです。

私は、いろんな人と英語で話すことが好きだったので日本にいたときには、他人の目が気になり、英語で会話をすることを控えていました。

しかし、英語とハワイ語が公用語のハワイでは、色んな国の人と、英語で気が済むまで話すことができました。そのおかげで、これまで以上に英語表現の幅が増え、より高度な会話を英語で出来るようになりました。



恋を バイクに する

File:4

中島 直太朗(4年)

Q. 宮崎をバイクで走る良さは?

自然が豊かで、市内中心部から10分程で壮大な山や海が望めます。都市の人口に対しライダーの人数も多く、様々な種類のバイクを見れたり、ツアーと話したりもできます!

Q. 気をつけることは?

見通しの悪いカーブはしっかり減速すべし!(なにせ命が大切でしょ、カッコつけて飛ばすな!)

ビジネスプランコンテストで 2つの賞を獲得

File:5
西府 美羽 (3年)



Q. きっかけを教えてください

もともと企画を考えることに興味があったのですが、大学3年生のときに、学内で行われたビジネスプランコンテストに参加したことがきっかけで、学外のビジコンにも参加することになりました。

Q. 大変だったことは？

アイデアを形にするだけでなく、黒字化することを見据えたビジネスプランを立てることがとても難しかったです。現実的な数字を意識しながら考えることに苦労しました。

Q. 得られたことは？

相手を納得させるための、説得力のあるプレゼンテーション力が身についたと感じています。

韓国語を学び・教える

File:6
戸高 愛理 (4年)

Q. きっかけを教えてください

K-POPアイドルがきっかけで、韓国語を学び始め、大学の公認サークル「韓国文化研究部」に入部して、韓国の魅力を伝える活動に取り組みました。

Q. 得られたことは？

留学生との交流を通して、食事のマナーの違いなど文化面での新しい発見がありました。また、自分とは異なる背景を持つ友人ができたことで、視野を広げることが出来ました。

Q. 大変だったことは？

年齢や語学レベルが異なるさまざまな方に同時に韓国語を教えることが大変でした。自分の限られた知識の中で、相手にどのように伝えれば「伝わるか」を常に考えていました。



筋肉美を目指して

File:7
三原 正義 (4年)

Q. きっかけを教えてください

自分の体型にコンプレックスを感じていたのだと思います。

Q. 得られたことは？

初めてベンチプレスをしたときは60kgも挙がりませんでしたが、約2年で140kgまで挙げられるようになりました。毎週計画通りにジムに通い続けることで、「何か一つ、自分が本気で向き合えるものがある」という自信や自己肯定感が身につきました。

運営 学園祭を

File:8
甲斐 理人 (2年)

Q. きっかけを教えてください

先輩の頑張っている姿を見て、自分も支えになりたいと思い、運営に携わることになりました。

Q. 大変だったことは？

新しい企画と組織を立ち上げましたが、前例もなかったので、手探りの状態から、何とかやり遂げました。他の組織との情報共有や先を見通して段取りを立てることが大変でした。

Q. 得られたことは？

コミュニケーション能力が上がったのに加え、様々な物事を両立することができるようになりました。自分もステージに出て観客を楽しませることができたので、いい経験でした！



大学広報誌を作成

File:9
西原 隆悟 (4年)

Q. 大変だったことは？

読者に分かりやすいレイアウトや文章を考えることです。また、納期がある中で、伝えたいことの取捨選択や作業のスケジュール管理には苦労しました。

Q. 得られたことは？

実際に、社会人の方々と関わり、作業をしていく中で社会に出た時の姿を想像することができました。さらに、この活動を通して、人に分かりやすく物事を伝える力を養えたと感じています。

カンボジアで 国際ボランティア

File:10
渡邊 ひなた (3年)

Q. きっかけを教えてください

国際支援に興味があったので、大学3年生の夏休みを活用して、1か月間、カンボジアでのインターンに参加しました。日本人観光客向けのツアーの企画をはじめ、農作業や保育園の運営、日本語学校での指導、現地食材を使った屋台販売など、地域に密着したボランティアに取り組みました。

Q. 得られたことは？

将来から逆算して考える力です。自分の無力さを感じる場面もありましたが、人に影響を与えるためには、自分自身が人に与えられる力を身につけることが大切だと学びました。



Seasonal Coffee Journey

in Miyazaki 

中心市街地まで自転車で10分の宮崎公立大学の周りには
テイクアウト可能なお店がたくさん。

今回は、数あるテイクアウト商品の中でも
大学生の余暇時間に欠かすことが出来ないコーヒーに注目！
学生記者おススメの季節別コーヒー旅を提案します。



Spring

春の暖かさを感じる季節には、宮崎公立大学から車で約15分のm'cafeでドリンクをテイクアウトして、m'cafe近くの垂水公園へ出かけてみるのがおすすめです。m'cafeには、ラテ系のドリンクをはじめ、シェイクなど種類も豊富。その日の気分に合わせて選んだ一杯を、桜を眺めながら楽しむ時間は、気分転換にぴったりです。空きコマや放課後に、春ならではのゆったりしたひとときを過ごしてみたいかがでしょうか。



@m'cafe

@垂水公園

Summer

宮崎市中央卸売市場にあるカンカン通り商店街には手頃であたたかいお店が並び、どこか懐かしい宮崎の空気が流れています。コナツコーヒーは、朝7時からテイクアウトができるので、一日のはじめに近くの海で日の出を眺めながら飲むのもオススメ。オリジナルブレンドは、クセがないため飲みやすく、はじめての一杯にも最適です。焼き芋シェイクやお芋スティックなどの芋スイーツは一年中楽しめて、時期ごとに変わるお芋の種類で味の違いも感じられます。コーヒーが100円からという驚きの価格も、この場所ならではの。夏は少しアクティブに！イオンに行くついでに、バス待ちの合間に、海までのドライブやサイクリングの途中にイチオシのスポットです！



@カンカン通り



@コナツコーヒー オリジナルブレンド、お芋スティック



@サンビーチーツ葉

学生記者が気付いた
『Coffee』の奥深さ

今回のコーヒー特集で、初めて本格的にコーヒーと向き合った学生記者。ここ数年、宮崎市内を中心に、個人で営まれているコーヒーショップが増えました。インターネットで検索すると建物をリノベーションしたお洒落なコーヒーショップがたくさん表示されます。お店やコーヒー豆の種類によって、様々な表情を見せてくれるコーヒー。大学生の新しい趣味として迎えてみてください！きっと、抜け出せなくなること間違いなしです。

Autumn

2025年4月にオープンしたこちらのCHICCHI COFFEEでは、15種類のコーヒーを常備しており、好みに合った味を楽しめます。ラテやお菓子もあり、授業の合間に友達と息抜きができます。コーヒーを飲みながら読書も楽しんでみませんか？大学附属図書館には『クロスラウンジ』と呼ばれる飲食可能なスペースが。ここで午後のひとときを過ごすことができます。



CHICCHI_COFFEE



@CHICCHI COFFEE
公立大近くの住宅街に2025年にオープン。



コーヒーごとに、おしゃれなカードも。ぜひ集めてみてください！



@宮崎公立大学 クロスラウンジ
※飲み物は蓋付きのものに限ります。

Winter

中心市街地は公立大から近く、放課後にも立ち寄りやすい場所です！アミュプラザ宮崎のイルミネーションはリニューアルされ、写真映えるスポットとして人気です。アミュプラザ宮崎の近くにあるGARAGE COFFEEでホットコーヒーをテイクアウトして、イルミネーションを眺めながら素敵な時間を過ごすのがおすすめです！



@GARAGECOFFEE.RO



@アミュプラザ宮崎



@GARAGE COFFEE
店員さんの丁寧な説明で自分に合った一杯を見つけることができます！



Coffee Nap

コーヒーを飲んだ直後に**20分**だけ昼寝をする習慣です。コーヒーのカフェインが脳に届くまでに約**20分**かかるため、起きた瞬間にカフェインの効果が重なり、驚くほど頭がスッキリと言われています。勉強に追われる学生の皆さん、一度試してみてくださいはいかがですか。

宮崎を食べつくせ!

宮崎にはここでしか味わえない地元ならではの特別な味があります。
そこで私たちは、「野球選手も訪れる宮崎名店マップ巡り」と
「ひでじビールを使用したスイーツレシピ」というプロモート案を紹介します。

野球キャンプには県外からも多くの方が訪れます。
日本各地を飛び回るグルメな選手たちの推しメシをあなたも味わってませんか？
運が良ければ選手に会えるかも…！？

選手の推しメシMAP!



ギョーザ専門店 黒兵衛

迷ったらここ！餃子の名店

宮崎で長く親しまれている餃子の専門店。
野菜がたっぷり入ったタネをモチモチの皮が包んだ餃子は、素材の旨味をシンプルに味わえます。餃子一筋の変わらないおいしさに、県外から足を運ぶ人も多くいます。野球選手も数多く訪れ、店内には壁一面にサインが並んでいます！



フルーツ大野パーラー

選手も通う、本気のフルーツ時間

パフェといえばここ！宮崎県民から愛されているフルーツ大野パーラーでは、種類豊富なパフェが楽しめます。県内の美味しいフルーツを使用しており、最後まで飽きずにペロロといけちゃいます♪人気商品はフルーツパフェで、県外の方にはマンゴーパフェがおすすめです！



日本料理 四季菜 巴せり

贅沢にゆったり食事を堪能したいなら

旬の宮崎の食材を生かした繊細で上品な和食が御膳やコースで楽しめるお店。丁寧に作られた料理は見た目も美しく、厳選されたお酒と共に味わえるのも魅力的。完全個室の落ち着いた空間で人の目を気にせずゆったり過ごせるのも選手がリピートするポイント。駅チカでアクセス抜群！



南国プリン

宮崎の新定番!? プリン

お酒に合う料理を楽しんだ宮崎の夜にここでしか味わえないプリンはいかがですか？特産品であるマンゴーをふんだんに使ったマンゴープリンやインスタ映えばっちりのプリンアラモードなど様々なプリンが揃うここには県内外に多くのファンがいます。オリックスやソフトバンク、様々な球団の選手が買いに来るのだとか！



ちょっとリッチに お家でカフェ気分

大学生になると増えるのが一人時間。地元のクラフトビールを使って、おうちでカフェのような本格スイーツを作ってみませんか？今回は、宮崎が誇る『ひでじビール』を使った、ちょっと贅沢な大人のレシピをご紹介します♪

クラフトビールとは？

クラフトビール(地ビール)とは、1994年の酒税法改正をきっかけに広がった、小規模醸造所が手がける個性豊かなビールです。大量生産に頼らず、醸造家の目が行き届く少量仕込みによって、伝統や地域性を生かした味わいが生まれています。

ひでじビールとは？

宮崎県延岡市で生まれたクラフトビールブランド、ひでじビール。1996年の創業以来、豊かな自然に育まれた天然水と地元原料を生かし、土地の個性を映したビール造りを続けてきました。伝統的なビアスタイルを軸に、宮崎産の農産物を副原料として取り入れることで、ここにしかない味わいを表現しています。今回はその中から、宮崎県産の栗を使用した黒ビール「栗黒」を使用しました。



栗黒とは？

なんで栗黒はスイーツと合うの？

「栗黒」は宮崎県産の栗を副原料に使用した、濃厚な黒ビール。大麦を高温で焙煎し、黒色になるまでローストしたコーヒーのような香ばしさと、栗の上品な香り、重厚なコクが特徴です。アルコール度数は9%で、高アルコールのため長期の瓶内熟成が可能で、熟成が進むほど味わいはまろやかに変化します。特にこの「栗黒」は、ローストされた香ばしさと栗の甘みが最大のポイントです。まるでコーヒーやカカオのような風味を持っているため、焼き菓子やクリームとの相性が抜群なんです！

ひでじビールHPより (<https://hideji-beer.jp>)

Original Dessert Creation



栗黒×モンブラン

※AI生成によるイメージ画像を使用しています。

作り方

下準備：栗黒モンブランクリーム
甘栗(100g)、栗黒(100ml)、牛乳(50ml)をボウルに入れ、なめらかになるまでしっかり混ぜてクリーム状にします。

- 市販のケーキスポンジを食べやすい大きさにカットし、お皿にのせます。
- スポンジの上に、ホイップクリームを山盛りに絞って、土台を作ります。
- その上から、下準備で作っておいた栗黒のモンブランクリームを絞り、モンブランの形に仕上げます。
- 最後に上に甘栗を飾れば、栗の香り広がるお店顔負けのモンブランの完成です！

栗黒×スコーン

※AI生成によるイメージ画像を使用しています。

作り方

- ボウルにホットケーキミックス(200g)、栗黒(50ml)、牛乳(50ml)を入れて、全体がなめらかに混ぜるまでよく混ぜます。
- 生地が少し固まってきたら、手でちぎって好みの形に丸めます。
- 天板に固まった生地を並べ、オーブンで焼き色がつくまで焼けば完成です！(目安:180℃で10分~15分ほど)



「知って得する！ スイーツに合うビールの選び方」



※AI生成によるイメージ画像を使用しています。

まず一番カンタンなのが「色」で合わせる方法。食べたいスイーツを決めてから、その色に近い色のビールを合わせてみたり、反対にビールが主役の場合は、ビールの色に合わせてみてスイーツを選んでみるとおうちカフェ気分の楽しさも増えると思います。



気になるあの部の噂の真相を確かめて見ました!

吹奏楽部

Q1. 部の魅力を教えてください!

私たちが吹奏楽部は他の吹奏楽団体よりも少人数で活動していますが、その分学年の垣根を超えて部員同士の仲が良く、和やかな雰囲気の中で楽しく活動できるのが魅力です!

Q2. 普段の活動内容を教えてください!

通常は火曜日・木曜日・土曜日を練習日として活動しています。大学内の行事への参加をはじめ、他大学の吹奏楽部との合同演奏会を開催するなど、一般の方々とも交流できる機会を大切にしながら、幅広く活動を行っています。

Q3. 練習後の「最高の一時」を教えてください!

練習後にみんなでご飯を食べながら、練習の振り返りや過去の演奏会の感想、普段の大学生活について話す時間が私たちにとって最高のひとときです!

Q4. 練習成果の発表の場を教えてください!

入学式や新入生歓迎会、学園祭などの大学の行事をはじめ、他大学との合同演奏会や定期演奏会などたくさん演奏する機会があります。

Q5. 学生の皆さんに一言お願いします!

吹奏楽部は上下関係にとらわれず、みんなで和気あいあいと楽しめる部活です。吹奏楽経験者も、未経験の人も、どんな人でも入部を待っています!



紹介動画



公式SNS



礼法・きもの部

Q1. 部の魅力を教えてください!

一生役に立つ技術が身に付けられるところです。社会人になってから着付けを習いたいと思っても、なかなか機会が無いと思いますが、学生のうちに着付けを修得できることが魅力です。

Q2. 普段の活動内容を教えてください!

外部から講師の方をお呼びし、大学の和室で着付けの練習やマナーの稽古、日本文化についての勉強をしています。ゆるい雰囲気も魅力です。

Q3. 部活中の「喜びの瞬間」を教えてください!

出来なかったことがだんだんとできるようになったときは、とても嬉しい気持ちになります。日々の努力が実り、自身の成長を感じたときに喜びを感じます。

Q4. 練習成果の発表の場を教えてください!

秋の学園祭で着付けパフォーマンスや、茶道部さんの着付けを担当させていただいたり、卒業式の袴の着崩れを直すボランティアをしています。

Q5. 学生の皆さんに一言お願いします!

着付けと聞くと難しい印象がありますが、少しでも「着物が好き」という気持ちがあれば今すぐ誰でも始めることができます。和室で待っています。



紹介動画



公式SNS



編集後記

大学の良さが伝わるよう記事作成を心がけました。本誌が大学を知るきっかけになれば幸いです。

今年も学生記者として活動させていただきました! 班に分かれて楽しく活動できました!

企画・デザイン・文章など一から一つの誌面を作ることができ、広報誌作りには大きな達成感を感じました。

さまざまな立場の読者の視線を意識する難しさに悩みました。形になったときは大きな達成感を感じました。

出版業界の流れを、実際に体験し、協力して作り上げる貴重な経験ができました。嬉しかったです。

学生記者が中心となって作成しました。どの記事も面白いので細かいところまで見ていただけると嬉しいです。

広報誌作りに携わることができ、大学生活の中で特に楽しい経験になりました!

記事作成は、大変なこともありましたが、過程を楽しみながら、自分の成長にもつながりました。

取材で宮崎の温かさに触れ、悩みついても楽しく書き上げられ良い経験でした。

今富紗来 西原隆悟 田久保亜子 大尾映葉 山田さくら 山本芽依 篠田里桜 川越隆聖 安藤百香

KYO SHIP

～ MMU教員の頭の中 ～

講義や研究に大学運営など、忙しい日々を送るMMUの教員たち。連載企画「KYO SHIP」では、そんな教員たちの「思考の秘密」を探ります。今回は、出版ほやほやの最新刊を抱えた教員たちに出版図書に込めた熱い想いと、研究の種となった思い出の旅の記憶を尋ねます。教員の「研究意欲が爆発した瞬間」を、ぜひお見逃しなく!



田宮 昌子教授

専門分野 中国文化論
主な担当科目 中国文化論
中国の言語と文化
中国語ⅠⅡⅢⅣ



図書に込めた想い

“中国”は、日本の伝統と現在、いずれについて考えるにも無視できない大きな文化的存在です。本書が「日本人が日本について考える」ための手助けとなれることを願っています。現代日本人のための中国文化論/田宮昌子/鑑脈社

思い出の研究旅

中国内陸部の険しい山岳地帯の小さな村。経済発展の波も及ばない僻地に残る日本軍トーチカの跡、老人たちが口にする片言の日本語…日本人が知らない日本の足跡が心に刺さる旅でした。

意欲ある君へ

私の人生は大学時代に本当の意味で始まった、それまでは助走期間だった、と感じています。皆さんにもそんな瞬間! 出会い! がきっと待っています! 大いに期待して下さい!!!



倉 真一准教授

専門分野 社会学 国際社会学
主な担当科目 社会学
国際社会学
社会調査論



図書に込めた想い

一言でいうと「越えて繋ぐ」です。『大学的宮崎ガイド』は、大学の垣根を越えた連携の産物です。時代を越えた人や文化の繋がりから、宮崎の個性や魅力を再発見できればと考えました。『大学的宮崎ガイド—こだわりの歩き方』/宮崎公立大学・宮崎大学『大学的宮崎ガイド』編集プロジェクト編/株式会社昭和堂

研究で広がる世界

「データがないので…」と言い訳したら「データじゃなく視点がないだけ」と返されたことがあります。逆にいうと視点さえあれば、いつでも研究は出来るし、視点を鍛える学びの機会は宮崎にもあります!



寺町 晋哉准教授

専門分野 教育社会学
主な担当科目 教育の原理と課程
教師論、教育社会学
教職実践演習



図書に込めた想い

大学進学する上で最も不利な立場になりやすい「地方女子」の現状を通して、「より良い社会とは何か」を考えた本です。なぜ「地方女子」は呪縛になるのか/寺町晋哉/集英社新書

思い出の研究旅

何をしていても、ずっと頭の片隅に「執筆」が回ってまわり、苦悩した2年間でした。研究旅という名のデスロードでした。

意欲ある君へ

本書を通してご自身が置かれた状況を振り返り、少しでも心が軽くなってもらえると嬉しいです。

共著者



四方副学長



梅津教授



森津教授



楠田准教授



清水准教授



金子講師

思い出の研究旅

大学や大学院での調査実習や海外でのフィールド旅行です。常識や仮説が吹っ飛び、トラブルや矛盾するデータに悶絶もしたけど、見ることも聞くことも、そして考えることが楽しかったですね。

意欲ある君へ

「AIを上手に使いこなそう」と言いますが、そこに常識や仮説が吹っ飛び、トラブルや矛盾するデータに悶絶する体験はたぶんない。だから逆に「AIをぶっ飛ばす」くらい意欲ある君をみたいのです。



旅行を通して、 心豊かな交流と 感動を届けたい

株式会社 JTB 宮崎支店
(営業課)

小倉 ひかり
Ogura hikari

平成 29 年度卒業生
Intercultural Communication 演習

留学で得た気づきを旅の仕事に

私は現在、JTBで法人営業を担当しています。企業や組織団体の旅行企画をはじめ、自治体の海外派遣事業のサポート、MICEの企画運営、添乗業務など幅広い業務に携わっています。旅を通して生まれる交流の場づくりに関わることが、この仕事の魅力だと感じています。

私は中学生の頃に経験したアメリカでのホームステイをきっかけに留学への関心が高まりました。異文化に触れる面白さを知り、大学では長期留学を目標に、語学教育や留学制度が充実し、学生の留学率も高いMMUに魅力を感じて入学しました。大学時代には、アメリカのハワイとシアトルで1年間の留学を経験しました。世界各国から集まった学生と生活を共にする中で、言葉や価値観の違いに戸惑うこともありましたが、対話を重ねるほどに相手への理解が深まり、「分かり合える瞬間」の嬉しさを知りました。その経験は、今の仕事の原動力にもなっています。

就職先としてJTBを選んだのは、「地球を舞台に人々の交流を創造し、平和で心豊かな社会の実現に貢献する」という経営理念に、自分の経験と想いが重なったからです。旅行は一度きりの体験ですが、そこで交わされる言葉や時間は、その後の見方を変えてくれる力があると感じています。私はその「小さな変化」をつくる仕事に携わりたいと思いました。

ゼミとアルバイトで育んだ力

大学ではネット先生(ネイサン・ダッカー先生)の Intercultural Communication 演習に所属しました。留学経験者も多く、刺激の多い環境でした。授業は毎回英語で、プレゼンテーションの機会も多くありました。多様な文化や価値観を、言葉にして伝える経験を重ねるなかで、相手に合わせて伝え方を工夫する姿勢が身についたと思います。また、リベラル・アーツ教育を通して、物事を一方向からではなく多角的に捉える視点も育まれました。

学生時代は、留学費用を少しでも賄うためにアルバイトにも力を入れました。アパレルや飲食業、結婚式場などを掛け持ちし、さまざまな年代のお客様や立場の異なる従業員と接しました。現場では、相手が求めていることを想像し、先回りして動くことが求められます。小さな気配りや声かけ一つで場の空気が和らぐこともあり、ホスピタリティの大切さを学びました。現在の仕事も、会話のなかから始まります。お客様の話に耳を傾け、潜在的なニーズや課題を整理し、最適な形にして提案する。相手の立場に立って考えること、複数の視点で物事を見ることは、学生時代の経験が土台になっています。

学生時代に大切にできたこと

現在はMMUの異文化実習のサポートにも携わっています。かつて自身が経験したことを、今度は支える側として関わられることを嬉しく思います。在学していた頃と変わらず、異文化交流に対する学生の皆さんの熱意を感じます。

私は在学中、知らない世界に一步踏み出すことを大切にしてきました。迷いながらも踏み出した先で、人や経験に出会い、次の道が開けていったように思います。就職活動で迷っていたときには、就職支援室(現・就職支援係)に背中を押してもらい、進む方向を定めることができました。ぜひ、学内外の出会いを大切にしながら、自分の興味のあることを深めて挑戦してみてください。

株式会社 JTB

JTBの事業ドメインは「交流創造事業」です。交流とはすなわち“つながり”を指し、生み出す価値は無限です。旅行者と地域、企業と地域、旅行者と企業、あるいは日本と世界など、多様なつながりを生み出し、共創による社会課題の解決へつなげています。あらゆるステークホルダーを“つなぐ・つくる・つなげる”ことで、地球を舞台に「新」交流時代を切り拓いていきます。